

2013年度 第13回の整数論セミナー

日時：2013年7月12日(金) 16:30~18:00

場所：〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1
早稲田大学西早稲田キャンパス(旧・大久保キャンパス)
61号館4階413室(61-413)

講演者：星裕一郎(京都大学)

タイトル：数体の乗法的情報による加法構造の復元

アブストラクト：

数に対するもっとも基本的な操作として、「足し算」と「掛け算」というものがあります。この足し算・掛け算という2つの操作は、非常に複雑に絡み合っており、整数に関わる様々な問題の難しさは、ある意味において、この複雑な絡み合いに起因していると考えられます。

この講演では、上で述べた「複雑な絡み合い」の1つの表出と考えられる「数体の加法はその乗法的な情報によって記述・復元することができる」という主張(「内田の補題」の数体版)について、解説を行おうと思います。